



## 偉人の言葉

「これをやってもムダだ」と思っているのは、何もできない。やってみなければ分からない。  
山中 伸弥(ノーベル医学生理学受賞者)

# SS理数探究Ⅱの中間発表が行われました！！③

9月12日(水)に、SS理数探究Ⅱの研究発表会が行われました。今回は生物分野の発表をした生徒の気づき・感想などを紹介します。

### 高校生の気づき・感想など(生物分野選択の生徒)

■でた結果をわかりやすくまとめて、その後、もっと深く考察していくべき。今まで考えもしなかった結果の出し方などが知れて良かった。 ■実験の結果にはいろんな条件が考えられるから、自然界の条件にできるだけ近づけて説得力のある結果になったらいいなと思った。 ■中間発表を終えて他の班も一生懸命研究しているんだなと思いました。特に見に行った数学がわかりやすくまとめられていて良い発表だと感じました。 ■実験が中途半端なので、しっかりと完成させないといけない。より説得力をもたせるためには、どうしたら良いかを考える必要がある。とても緊張しました。 ■研究するにあたって私達が今1番何を調べることが大切かをもう1度考え直すべき。 ■今回の中間発表では、多くの質問に答えたり質問をしてセッションすることが出来たと思います。教授たちの専門的な質問や生徒たちの素朴な質問に納得してもらえる答えを出せたのが嬉しかったです。これは、たくさんの大会に出た時のおかげだと思うので、こういう場を活用していこうと思いました。反省として、難しい実験方法や名前などが多く出てくるので、それが皆の理解を妨げているなと思いました。あと、化学や物理、数学的分野からの質問が予想していたのとは外れていて少し困りました。なので、様々な分野からの視点で考えることの重要性を学びました。 ■発表の仕方として、強調する部分があやふやで内容が伝わりづらかったところがあったので気をつけたい。聴衆側としては、自らの理解力のなさからか、実験の内容がすぐわからなくて、全然質問できなかった。少しのことで、積極的に質問していきたい。 ■発表しながら、内容が上手く伝わっているか不安になったときがあった。また、他のグループの発表をきいて、ポスターや説明の仕方の工夫によって内容の伝わり方や興味・関心をきいている人に持たせるかどうかが変わってくることを感じた。なので、今後の発表の仕方をもっと工夫していきたいと思った。他のグループの研究内容はとても面白くて、良い刺激になったし、自分達の研究についてもより理解を深めて、今後について考える良い機会になったので良かった。 ■結果から考察する際は、どのようにするのかももっと考えていく必要があり、コンピューターシミュレーションについても知ることができたので、それも含めてこれから研究をすすめていきたいです。また、人に伝えるポスター発表をできるようにしていく必要があると思いました。 ■コンピューターシミュレーションなど、私たちが知らない調査方法を教えていただけて、今後の研究に役立てそうだったと思った。他のチームの発表の様子やポスターのまとめ方を見て、私たちももっと分かりやすくまとめようと思った。 ■講師の方々の提案が、自分達では思いつかなかったものばかりで、実験をより確実なものにする方法や、新しい実験の仕方など、とても参考になった。 ■発表で、上手く表の説明をできなかったこと、質問に対する適切な答えを返せなかったことが反省点です。今日、質問されたことや反省点をもとに、また、SSHの授業などを利用して次の発表に向けて頑張りたいです。



↑ 生物分野会場の様子です！！(^ ^)